

提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉

アーモンドの森

〈提案の趣旨〉

アーモンドの森の由来は、この建物がアーモンドの型に似ていることからふとはじまります。アーモンドの木はバラ科サクラ属の落葉高木で、春になると桜の花に似たピンク色のかわいい可憐な花が咲き、そして、最後に美味しいアーモンドができます。そんなアーモンドの森は、三河安城多目的交流拠点施設（仮称）アリーナのシーホース三河のバスケットボールに特化していることを第一に補完的に考えることを願っています。

全体像の外観は、1階部分の鉄骨は茶色で木と枝を表し、外壁の2階部分の鉄骨は茶色で木の枝を表し、外壁の約半分以下の部分は緑色で葉っぱの色を表し、もう約半分以上の部分はピンク色で花の色を表しています。屋根のプラネタリウムの部分もピンク色です。

2階部分は300インチ大型マルチビジョンでアリーナと同時にシーホース三河のバスケットボールの試合を見せます。試合の中間でチアガールの実際のチアダンスを楽しんでいる時、さらに空いている時は、エキシビションで今やっているシーホース三河のバスケットボールの試合のハイライトを壁に流します。基本的にアウェーで戦う時も同じ要領で投影します。また、エキシビションを使用しますので若干部屋の中は暗くします。また内装の色はシーホースの色であるブルーを床全般に使用します。特に差し色のホワイトは、全般的に壁とプラネタリウムの壁に使用し、エキシビションが良く見えるようにします。あと差し色のブラックとゴールドも随所に使います。

そして、1階部分のキッチンカーは、さらに2階部分の補完的な役割です。1階部分は見えるようにデジタルサイネージを設置し、2階のマルチビジョンと同じように映像を流してやる。そして、1階部分もバスケットボールを見ながら、飲食もでき、さらに一部分が吹き抜けで、そこでもデジタルサイネージと同じ映像が映り、遠くからでも何が見えているかが分かります。ただし、2階部分への飲食の持ち込みは禁止とします。以下、スポーツや音楽や芸能や写実的なものとも創造的で現実的であることを考えます

設置と運営に係る基本的な考え方と計画は、シーホース三河は、ホームでの試合は30試合でそれ以外の利用価値を考慮し、空いた日を有効的にすごせる空間づくりが必要です。試合日以外を利用して音楽、例えば、ジャズ、クラシック、ニューミュージックなど、eスポーツ、ダンス、あるいは、プロレスとか、ボクシングなど、イベント等やパブリックなイベントをやるようにしてもいいはず。また、たまには、中央のエキシビションに移して、夜空の星空の観察を写し出すのもいいではないでしょうか。また、三河安城フェスタやつかう.meetと一緒に協働のまちづくりや大震災の時は一時避難所として活躍して欲しいです。